

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2016.1.1 ~ 1.31)

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』688号(2016年2月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	77	15	92
受 贈	16	0	16
合 計	93	15	108

□閲覧サービス

閲覧

開館日数 19日

閲覧人員 13名

貸出図書 3冊

コピーサービス

学外 9件 2106枚

学内 2件 178枚

日 誌

- 9日 大原社会政策研究会(第18回)
寺尾範野氏(共立女子大学 国際学部 専任講師)
「優生学とイギリス福祉国家思想——世紀転換期のニューリベラリズムを題材として」
- 12日 来所:北海道教育大学林田裕和氏, 雄松堂出野直子氏 デジタル出版企画について相談(鈴木, 榎)
- 13日 『読売新聞』に環境アーカイブズ所蔵「薬害スモン関係資料」の整理・保存に関する記事掲載
拡大事務会議・事務会議
第2回100年史編纂委員会/100周年記念準備委員会
- 15日 法政大学ミュージアム検討委員会(榎)
- 19日 ウェブ会議
- 20日 運営委員会
議題①大原社会問題研究所規程の改正
②客員研究員の承認
③兼担研究員の委嘱
④来年度の運営委員会体制
⑤学内委員の委嘱
⑥大原社研シネマ・フォーラムの候補作

⑦その他

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

- 21日 大原社研・環境アーカイブズの取組みに関するテレビ放送(TBS News 23)(取材対応:清水)
- 27日 研究員会議
資料事務会議
- 28日 研究所長会議(於:市ヶ谷)
- 31日 第19回社会党・総評史研究会
浜谷惇氏(元日本社会党政策審議会事務局長)
「政権と社会党——1980年代から90年代中頃までの政策審議会を回想」

大原社会問題研究所雑誌

No.691(2016年5月号)

2016年5月1日発行

定価1,000円(本体926円),年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所 長 鈴木 玲

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話 042(783)2305

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会・労働問題に関する「論文」「資料紹介（調査報告）」を募集しております。下記の投稿規定と執筆要領に基づいてご投稿ください。 [2015.11.25 改定]

投稿規定

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則として 20,000 字以内（図表・スペースを含む）とします。大幅に分量を超える原稿は審査の対象としません。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて本文に入り、著者名は記載しないでください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、①投稿原稿（審査用原稿）3 部、②1,000 字以内の要旨 3 部、③表題紙 2 部を送付してください。表題紙に記載する事項は、投稿原稿の①題名、②目次、③分量（図表を除く文字カウント数（スペースを含める）、図表の数）、④著者の氏名（よみがなを併記）、⑤肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑥略歴、⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

【送付先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

投稿原稿 執筆要領

1. A4 版の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワープロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、可能なかぎり、掲載を希望する大きさに、そのまま白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表1 入れる】等と手書きで指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさに全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、図書の場合、著者名・発行年・書名・出版社名の順に記述する。雑誌論文の場合、著者名・発行年・論文名・雑誌名・巻号・ページ数の順に記述する。ただし、他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2014）「日本製糸業における労務管理の生成とジェンダー」榎一江・小野塚知二編『労務管理の生成と終焉』日本経済評論社。

原伸子（2012）「福祉国家の変容と子どもの貧困——労働のフレキシビリティとケア」『大原社会問題研究所雑誌』649 号、30-46 頁。

Suzuki, Akira (2012) "The Limits and Possibilities of Social Movement Unionism in Japan in the Context of Industrial Relations Institutions," in Akira Suzuki (ed.) *Cross-National Comparisons of Social Movement Unionism: Diversities of Labour Movement Revitalization in Japan, Korea and the United States*. Bern: Peter Lang.

法政大学大原社会問題研究所 ワーキング・ペーパー（旧調査研究報告）のご案内

ワーキング・ペーパーは、教育研究機関からのお申し込みに限り、無料で配布しております。
個人・一般の方には実費で頒布しています。入手ご希望の方・機関はご連絡ください。

No.	タイトル	発行年月
54	最新刊 持続可能な地域における社会政策策定にむけての事例研究 Vol.5—岡山県の産業政策と介護、倉敷市の地域医療調査報告—（500円）	2015年 8月
53	持続可能な地域における社会政策策定にむけての事例研究 Vol.4—倉敷市政と繊維産業調査および環境再生・まちづくり調査報告—（500円）	2015年 3月
52	持続可能な地域における社会政策策定にむけての事例研究 Vol.3—倉敷地域調査および桐生繊維産業調査報告—（500円）	2014年 4月
51	棚橋小虎日記（昭和十八年）（500円）	2014年 1月
50	持続可能な地域における社会政策策定にむけての事例研究 Vol.2—繊維産業調査および公害病認定患者等調査報告—（500円）	2013年 4月
49	電産中国関係資料（300円）	2013年 3月
48	協調会の企業調査資料（300円）	2012年 4月

法政大学大原社会問題研究所 〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
tel:042-783-2305 fax:042-783-2311 e-mail oharains@adm.hosei.ac.jp

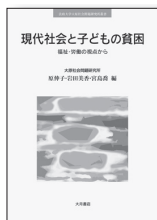
子どもの貧困を生む構造・制度を多面的に論証

法政大学大原社会問題研究所叢書

現代社会と 子どもの貧困

福祉・労働の視点から A5判・4500円

法政大学大原社会問題研究所／
原伸子・岩田美香・宮島喬 編



先進国中で最悪ともいわれる
子どもの貧困。福祉制度や支
援のあり方、母親の就労環境、
障害など複合的な要因を分析。
アメリカ・イギリス・フラン
スなど諸外国の状況、歴史的
事例も含めた複眼的な論考を
もとに解決の道をさぐる。

視点を変えると異なる日本が見えてくる

歴史を読み替える ジェンダーから見た日本史

久留島典子・長野ひろ子・長志珠絵 編 A5判・2800円

姉妹編 歴史を読み替える ジェンダーから見た世界史
三成美保・姫岡とし子・小浜正子 編 2800円

沖縄に根ざし、新たな文化の創造をめざす

沖縄ジェンダー学2

法・社会・身体 of 制度

喜納育江・矢野恵美 編著 A5判・3400円

文系大学院生必携、研究・就職に役立つ1冊

人文・社会科学系大学院生の キャリアを切り拓く

A5判・2400円

佐藤裕・三浦美樹・青木深／一橋大学学生支援センター編著

税別価格 東京都文京区本郷2-11-9
電話03(3813)4651(代表)

大月書店

メールマガジン配信中(詳細はHPで)
<http://www.otsukishoten.co.jp>